

2022年度の「ホーム」について

4日間の風越づくりキャンプ(づくキャン)から、2022年度がはじまりました。いたるところで、「つくる」を体感する子どもたち。ここから風越での1年がはじまること、とてもたのしみです。

さて、新年度がはじまるにあたって、変更点としてホームの枠組みが新しくなることをお伝えしていました。以下、掲示板No.510「2022年度のはじまりにあたって」にてお知らせした内容です。

1. ホームの枠組みが新しくなります。

1.1. 全体

- 幼稚園で5つ、1～4年生で5つ、5～9年生で5つのホームです。
- 幼稚園と1～4年生と5～9年生のそれぞれのホームが縦でつながり、5つの兄弟姉妹ホームとなります。
- ホームは最低2年は継続します。1日のうちともに過ごす時間は少ない分、同じホームで長く過ごすことで、だんだんと「ホーム」になっていくことを目指します。

1.2. 幼稚園

- 年少～年長までの異年齢のホームです。
- 5月9日(月)からスタートします。

1.3. 義務教育学校

- 1～4年生までと5～9年生までの異年齢のホームです。
- 5月9日(月)からスタートします。

異年齢のホームがはじまって2年が経ちました。異年齢ホームで経験することの価値を強く実感していて、これからも大切にしたいコミュニティです。

参考記事) <https://kazakoshi.ed.jp/kazenote/dandan/16623>

来年度はいよいよ9年生まで揃い、12年間の人々が一つの学園につどいます。ホームでの経験をより豊かにするために以上の変更をしました。

今年度はホームをつくるプロセスに、つくり手である子どもが関わられるようにするために、4月1ヶ月間を「ホームの準備期間」とします。その上で、新年度のスタートは年齢が近い人たち(年少／年中／年長／1・2年生／3・4年生／5・6年生／7～9年生)で過ごす時間をベースにし、安心安全な関係性と場づくりを行っていきます。

そして、づくキャン3日目「風越づくりの日」に、子どもたちに向けて、改めて「ホーム」とはどんな場なのか、今年度何が変わったのかを伝えました。今回は、その内容をお伝えします。

1)「ホーム」とは？

①そこから出かけて、また帰ってくる「家」のような場

「いってらっしゃい」「いってきます」「ただいま」「おかえり」などの声が飛び交うような、生活の拠点となるような場です。そこから出かけて、また帰ってくる。「ホーム」はそんな場であり、そんな「ホーム」があるからこそ、「よし、いってこよう！」と踏み出せることがあります。

②なやみを聞いてくれたり、応援してくれたりする

「みんな最近どう？」「困ってることはない？」「がんばれ！」「大丈夫大丈夫！」など、なやみを聞いてくれたり、応援してくれたりするような関係性がある場です。無条件に自分を受け入れてくれる場があることは、日々の挑戦を支えることでしょう。スポーツに、「アウェイ」と「ホーム」があるように、ホーム戦でのファンの歓声に後押しされるように、お互いがお互いのファンであるような関係性を築いていきます。

③ライフイベントを楽しんだり、お祝いしたりする

「誕生日おめでとう！」「あけましておめでとう！」「～がんばったんだね！おめでとう！」「卒業おめでとう！」など。誕生日や季節の行事など、様々なライフイベントを楽しんだり、お祝いしたりすることを大切にするのも「ホーム」ならではの。自分たちの「ホーム」ならではのライフイベントが生まれるかも？

④からだやこころの成長を喜んだり相談したりできる

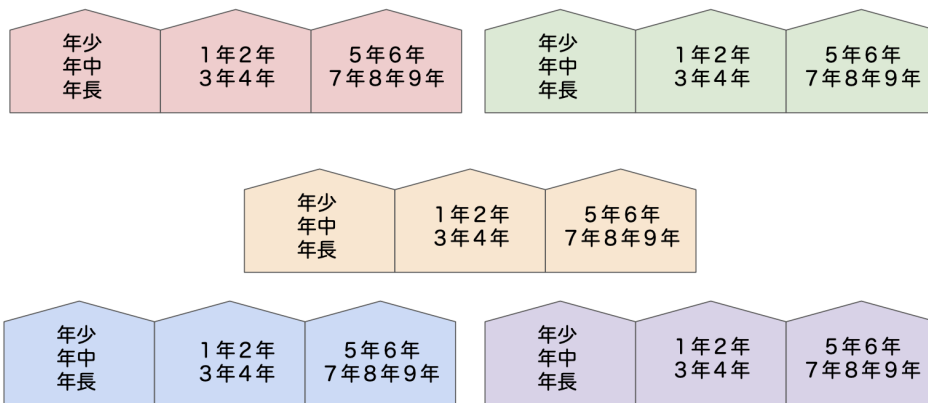
異年齢のホームでは、自分より大きい人、かつて小さかった自分のように小さい人がいます。「身長のびたなー！」「最近、からだのことでちょっとなやんでて・・・」「服が小さくなったんだけど、おさがりいる？」「あのころと変わったなー」など、からだやこころの成長を喜んだり、相談したりするのも異年齢で、2年継続して関係性を築いていける「ホーム」ならではの。からだとこころの変化も大切に扱うことができるのは大事なことです。さらに、異年齢でつながっていける場であることは、保護者のみなさんにとっても同じです。例えば、年次が上のお子さんがいる保護者の方が、過去に経験した迷いや悩みについて相談に乗ってくれる、というような関係性が生まれていくのも「ホーム」ならではのかもしれません。

⑤話したいことをなんでも話し合うことができる

「昨日こんなことあってさー」「ちょっとこんなことしてみない？」「ホームのみんなとやりたいことがあるんだけど」「ちょっと話聞いてくれない？」など、「ホーム」は安心安全な心の拠り所の場であると同時に、小さな自治を学ぶ場でもあります。自分たちの「ホーム」を自分たちでつくっていくこと、自分たちの悩みを自分たちで解決していくことなど、毎日のつどいで、たくさん話し合いを経験していきます。誰にでも話したいことを話せる場があることを「ホーム」では大切にしていきます。それに対して「かざこしミーティング」は風越という大きな「ホーム」をつくり、もう少し大きな自治を体験していく場です。

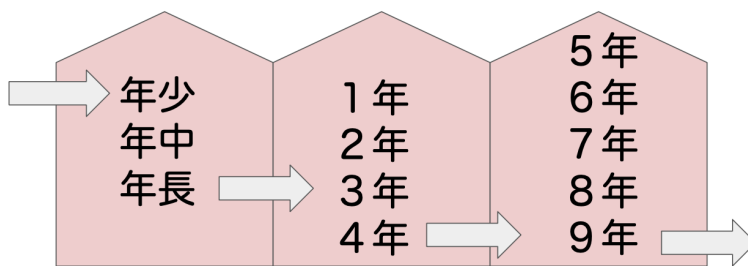
2) 今年度の「ホーム」の5つのこと(昨年度からの変更点)

①「ホーム」は5つ(そのなかで3つに分かれる)



「ホーム」は5つ。その中で、「年少・年中・年長」「1年・2年・3年・4年」「5年・6年・7年・8年・9年」の3つに分かれます。それぞれが兄弟姉妹ホームです。

②2年間はメンバーが変わらない(来年そのまま上へ)



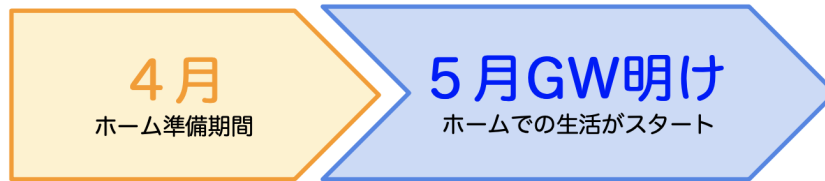
2年間はメンバーが変わりません。次年度は、新しく年少が入ってきて、年長は上のホームへ。4年生も上のホームへ。そして、9年生は卒業となります。2年後は、2年間を振り返って、継続か変更かを検討します。

③スタッフが全員どこかのホームに入っている



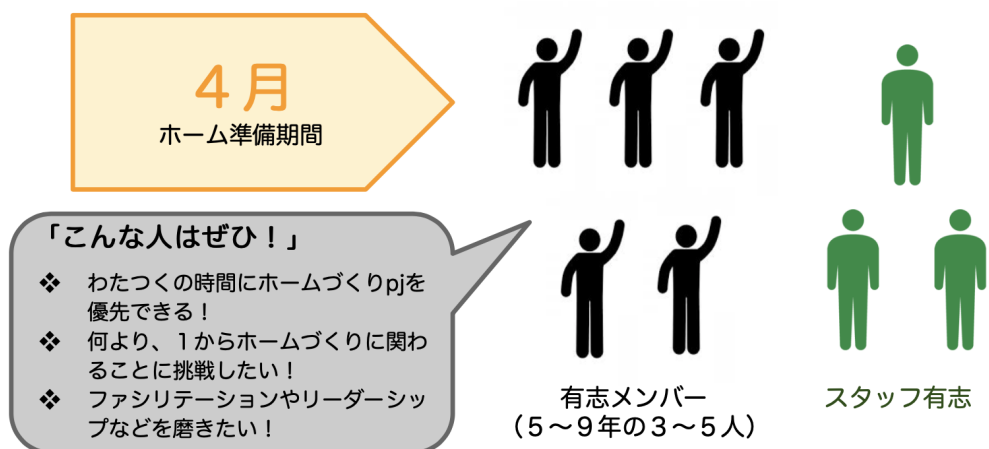
スタッフも例外なく全員ホームに所属します。スタッフそれぞれの立ち位置、あるいは、強みをもって「ホーム」に関わっていきます。そして、より複数のスタッフで子どもたちと関わるようになります。

④4月はホーム準備期間！5月GW明けから本格スタート！



4月は、ホームの準備期間とします。この期間は、基本的に朝のつどいや帰りのつどいは、学びの単位ごとに行います。ホームの本格スタートは5月のGW明け(5月9日)の予定。そこからは、つどいもホームで行うことを基本とします。

⑤ホーム準備期間は有志で「ホームづくりプロジェクト」



4月のホーム準備期間は、有志のメンバーで「ホームづくりプロジェクト」を進めていきます。各ホームで5～9年生のなかから3～5人の有志メンバーをつのり、スタッフとともに、どんな「ホーム」にしていくなか、「ホーム」をどのように運営していくかを話し合っていきます。